

ペメトレキセド[®]「サワイ」

点滴静注用
点滴静注液 100mg/500mg/800mg

適正使用ガイド

(監修) 関西医科大学附属病院 呼吸器腫瘍内科 診療教授 倉田 宝保 先生

【警告】

- 1) 本剤を含むがん化学療法に際しては、緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本剤の投与が適切と判断される症例についてのみ投与すること。適応患者の選択にあたっては、各併用薬剤の添付文書を参照して十分注意すること。また、治療開始に先立ち、患者又はその家族に有効性及び危険性を十分説明し、同意を得てから投与すること。
- 2) 本剤による重篤な副作用の発現を軽減するため、必ず葉酸及びビタミンB₁₂の投与のもとに本剤を投与すること。(「用法・用量に関連する使用上の注意」の項参照)
- 3) 重度の腎機能障害患者で、本剤に起因したと考えられる死亡が報告されているので、重度の腎機能障害患者には本剤を投与しないことが望ましい。(「慎重投与」の項参照)
- 4) 多量の胸水又は腹水が認められる患者では、体腔液の排出を検討すること。[他の葉酸代謝拮抗剤で、胸水又は腹水等の体腔液の貯留が認められる患者に投与した場合、副作用の増強が報告されている。]
- 5) 本剤の投与により、間質性肺炎があらわれることがあるので、本剤の投与に際しては、胸部X線検査等を行うなど観察を十分に行い、間質性肺炎が疑われた場合には、投与を中止し、適切な処置を行うこと。(「重要な基本的注意」の項参照)

【禁忌】(次の患者には投与しないこと)

- 1) 本剤の成分に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者
- 2) 高度な骨髄抑制のある患者(骨髄抑制が増悪し、致命的となることがある。)
- 3) 妊婦又は妊娠している可能性のある女性(動物実験(マウス)で催奇形作用が報告されている。)

効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等については、最新の添付文書にてご確認ください。
また、併用薬剤の使用にあたっては、各製品の添付文書をご参照ください。